

抄 録

マコガレイの鱗の性的二型

富山 毅*

Sexual Dimorphism in Scales of Marbled Flounder *Pseudopleuronectes yokohamae*
(Pleuronectiformes: Pleuronectidae), with Comments on the Relevance to Their Spawning Behaviour

Takeshi TOMIYAMA*

Journal of Fish Biology 83 (5), 1334-1343 (2013)

カレイ科魚類では外部形態の性的二型の報告はほとんどない。一方、相馬原釜の漁業者はマコガレイの無眼側を触診し、粗い場合は雄、滑らかな場合は雌として雌雄の判別を経験的に行っている。この違いは、粗い皮膚は櫛鱗、滑らかな皮膚は円鱗に覆われていることに起因している。そこで、マコガレイの無眼側の鱗のタイプ（櫛鱗と円鱗）について観察した。雄では、成熟した個体のほとんどは櫛鱗であったが、未成熟個体ではしばしば円鱗であった。雌では、小型の個体ではほとんどが円鱗であったが、体長 30cm を超える大型個体ではしばしば櫛鱗を有していた。鱗の棘数は体サイズの増加とともに増加したことから、鱗の形態には個体発生に伴う変化が生ずることが示唆された。マコガレイは雄が雌の有眼側に乗った状態で沈性卵を産出することから、雄の櫛鱗は産卵中に雌との接触を維持することに役立っているのかもしれない。

*広島大学生物圏科学研究科